

# 防災・減災研究とその実践に関する シンポジウム

## —大規模自然災害に対する大学の役割の明確化—

本シンポジウムでは、想定される南海トラフ巨大地震等の大規模災害時に大学が取るべき行動と地域における役割について、熊本地震を例にその経験を共有することを目的としています。多くの大学教職員および大学周辺にお住まいの方々の参加をお待ちしています。

日時 平成 29 年 9 月 30 日(土)  
時間 9:30～12 時(9 時より受付開始)  
場所 宮崎大学農学部 L206 教室  
(参加費は無料)

### プログラム

- 9:30 開会挨拶 原田隆典氏(宮崎大学)
- 9:40-10:20 熊本地震における熊本大学の対応と教訓(1)  
佐藤嘉洋氏 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育  
センター 研究員
- 10:20-10:50 熊本地震における熊本大学の対応と教訓(2)  
福本哲也氏 熊本大学 経営企画本部  
大学政策支援担当課長
- 休憩
- 11:00-11:50 巨大災害に対して大学がすべきこと  
金田義行氏 香川大学 四国危機管理教育・研究・地域  
連携推進機構 副機構長,  
地域強靱化研究センター長
- 11:50 閉会挨拶 稲垣仁根氏(宮崎大学)

主催：宮崎大学大学院農学工学総合研究科 防災環境研究センター  
協力：(一社)みやざき公共・協働研究会, SVCみやざき,  
宮崎県防災士ネットワーク, 県民がつくる宮崎防災ネットワーク  
問合せ：宮崎大学大学院 防災環境研究センター (0985-58-7336)